

2019年・2月度の活動報告

1日(金)	小山市地産地消・食育推進協議会 MCA防災無線訓練(日生協)
3日(日)	第11回とちぎ地域・自治フォーラム
4日(火)	全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会
6日(水)	宇都宮市食品安全講演会
7日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会 第3回福祉部会
9日(土)	子どもSUNSUNプロジェクト定期円卓会議「テーマ:子ども食堂を推進するには」 SDGsから読み解く未来に向けた社会づくり講演会
12日(火)	第5回理事会
14日(木)	栃木放送番組審議会
15日(金)	栃木県労働者福祉協議会幹事会 中央地連大規模災害対策協議会全体会議
16日(土)	コドモノ居場所・シンポジウム
18日(月)	第5回くらし部会 NPO 法人とちぎ消費者リンク事務局会議
19日(火)	とちぎ子育てネットワーク
20日(水)	とちぎ消費者カレッジ(足利大学)
21日(木)	第3回 役員・幹部職員定期学習会(農業)
25日(月)	とちぎ消費者カレッジ(足利大学看護学部)
26日(火)	全国消費者フォーラム NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
27日(水)	コウノトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会定例会
28日(木)	全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会

【2月度の振り返り】

◇機関運営

- 12日 第5回理事会
- 21日 第3回役員・幹部職員 定期学習会  
〈部会活動〉
- 7日 第3回福祉部会
- 18日 第5回くらし部会

◇ネットワーク活動

- 7日 食の安全ネットワーク世話人会
- 19日 とちぎ子育てネットワーク
- 20日 とちぎ消費者カレッジ(足利大学)
- 25日 とちぎ消費者カレッジ(足利大学看護学部)
- 26日 全国消費者フォーラム

◇行政関連

- 1日 小山市地産地消・食育推進協議会
- 6日 宇都宮市食品安全講演会
- 27日 コウノトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会定例会

◇被災地支援、防災

- 1日 MCA 防災無線訓練(日生協)
- 15日 中央地連大規模災害対策協議会全体会議  
3.11を忘れない～被災地のいま～をHPに掲載

◇その他

- 3日 第11回 とちぎ地域・自治フォーラム
- 4日・28日 全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会
- 9日 子どもSUNSUNプロジェクト定期円卓会議
- 9日 SDGs から読み解く未来に向けた社会づくり講演会
- 14日 栃木放送番組審議会
- 15日 栃木県労働者福祉協議会幹事会
- 16日 コドモノ居場所・シンポジウム

〈NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

- 8日 消費者リンク事務局会議
- 26日 消費者リンク理事会

以上

## 県連活動

### 1. 機関運営

- 2月12日(火)、2018年度第5回理事会を開催しました。

議案

- 【議決事項】次月度以降の活動計画及び決算報告承認／2019年度会費決定／「賛助会員基準」一部改定承認／第50回通常総会代議員定数枠及び選挙区定数決定／第50回通常総会関連事項承認／2018年度振り返りと2019年度活動方針及び事業予算(ガイドライン)承認
- 【協議事項】第6次中期計画の振り返りと第7次中期計画／報道代表者会議の運営について
- 【報告交流】月度定例報告(12月、1月)／ヒョム・ガキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名取組状況／映画後援報告「奇跡の小学校の物語」／日本生協連中央地連報告及び会員報告交流／個人情報保護に関連する会員の規程類の制定状況
- 【資料報告】種子法廃止に伴う「主要農産物の種子の安定供給に関する条例の制定を求める要望書」及びその署名の呼びかけ人報告／CO・OP REPORT／子どもSUNSUNプロジェクト呼びかけ

- 2月21日(木)、2018年度第3回役員・幹部職員定期学習会を開催しました。

■演題:農業と地域経済の現状と課題

■講師:宇都宮大学農学部 農業経済学科教授 秋山 満 氏

現政権の経済政策を背景に進行する、日本の農業問題の根深さに改めて気づかされる学習会となりました。

新自由主義による行き過ぎたグローバル化の影響に加え、国内では超少子高齢化の中での集落人口の減少と農業就業者の高齢化、農業生産力や多面的機能の低下、JA改革問題、農地中間管理機構等々、単体ではなく、絡み合う様々な問題を解決するために何が必要なのか、物事を多角的に捉える必要性を考える場となりました。



### 2. 行政関連

- 2月1日(金)、小山市地産地消・食育推進協議会が開催されました。

2019年3月までの「第3期おやま地産地消・食育推進計画」に続き、関係機関や関係団体と共に第4期計画(2019年～2023年)を進めています。

- 2月6日(水)、宇都宮市食品安全講演会が開催されました。

宇都宮市で食品安全確保のために取り組んでいる様々な事業のひとつとして、食に関わる専門家による講演会が開催されました。

■講演:一富士フードサービスの食品安全・衛生管理の取り組みについて

■講師:一富士フードサービス(株) 衛生指導員 池上 定行 氏

■講演:食品の産地表示と科学的検査

■独立行政法人農林水産消費安全技術センター 専門調査官 井口 潤 氏

- 2月27日(水)、コウトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会定例会が開催されました。

大久保小山市長をはじめとする会員で、日本コウトリの繁殖に成功し、現在8羽のコウトリを飼育している「埼玉県こども動物自然公園」への視察を行いました。

### 3. その他

- 2月3日(日)、第11回 とちぎ地域・自治フォーラムが開催されました。  
テーマ:安倍政権の「自治体戦略 2040 構想」とこれからの地方自治を考える
  - 基調講演:「戦後憲法下の地方自治と『自治体戦略 2040 構想』のねらい」
  - 講師:岡田 知弘 氏 (京都大学大学院経済学研究科教授、自治体問題研究所理事長)
- 2月9日(土)、NPO 法人栃木県環境カウンセラー協会 (TECA) 主催による学習会「持続可能な開発目標ってなに？」が開催されました。
  - 基調講演:SDGs から読み解く未来に向けた社会づくり
  - 講師:今井 麻希子 氏 (株式会社 yukikazet 代表 コンサルタント他)
  - パネルディスカッション:SDGs を事例で考える
- 2月9日(土)、子ども SUNSUN プロジェクト定期円卓会議が開催されました。  
「子ども食堂を推進するには」をテーマに、立ち上げの課題、運営の課題等について話し合われました。SUNSUN プロジェクトの研究によると、宇都宮では 415 ヶ所の子ども食堂が必要とされていますが、まずは全小中学校に 1 つ、98 か所の場の設立を目標としています。



#### 【sunsun プロジェクト HP より抜粋】

例えば、人口 52 万人の宇都宮市の子どもの貧困がなくなるには、子ども食堂 415 か所 (現在 4)、無料学習支援 98 か所 (現在 8)、居場所/もうひとつの家 14 か所 (現在 1)、フードバンク食品 623 トン (現在 12 トン)、資金 5 億 4000 万円が必要です。

でも、すぐには達成できません。そこで実現可能な目標を設定しました。

基本方針は、

- ①子どもが 1 人で行ける範囲にある。
- ②たくさんの大人が関わること、身近で安心な地域になること。
- ③親・先生以外に「相談できる人」がいる。

このことから、

「宇都宮市内 25 地区 (概ね中学校の範囲) に子ども食堂、無料学習支援、居場所/もうひとつの家、フードバンクのセットを作る」ことを目標としました。

## ネットワーク活動

### 1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 2月7日(木)、食の安全ネットワーク世話人会を開催しました。  
世話人会学習会では「輸入食品の監視指導の現況」について、世話人の宇都宮大学名誉教授 宇田 氏より解説いただきました。その他、2018 年度取組みまとめと 2019 年度計画案、県生活衛生課から「平成 30 年度県政世論調査 (抜粋)」のご報告、各団体からの活動報告等を行いました。
- 2月28日(木)、第3次宇都宮市食品安全推進計画(案)パブリックコメントを提出しました。  
宇都宮市では、平成 20 年 3 月に制定した「宇都宮市食品安全条例」の基本理念に基づき、平成 26 年 3 月に「第 2 次宇都宮市食品安全推進計画」を策定し、食の安全・安心の確保に関する施策を推進してきました。現在、これに続く第 3 次計画を策定しています。

## 2. とちぎ消費者ネットワーク

- 2月26日(火)、平成30年度全国消費者フォーラムが開催されました。(国民生活センター主催、参加者約600名)

■テーマ：「今、消費者に必要な力とは一成年年齢引き下げを見据えてー」

5つの分科会に分かれ、テーマに沿った取り組みの調査・活動結果報告があり、「3年後の成年年齢引下げを前に、若年層のトラブル防止に必要な消費者力向上のための取り組み」を中心に議論しました。宮腰光寛消費者担当大臣は「消費者教育の推進・充実が喫緊の最重要課題」「今秋には消費者庁に消費者教育推進課を新設する予定」等と述べられました。

分科会	テーマ
1.	若年層の消費者被害防止のためのさまざまな取り組み
2.	学校における消費者教育の取り組み
3.	地域における多様な主体の連携による消費者教育の取り組み
4.	消費者被害防止のための見守り活動を中心とした取り組み
5.	安全・安心な暮らしのための多様な取り組み

- 県の委託事業、とちぎ消費者カレッジ第12、13回を開催。今期の開催は終了し、1337名の受講者がありました。

開催日・回	会場	講師	演題	参加人数
第12回 2月10日(水)	足利大学 看護学部	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳 氏	悪徳商法防衛術 ～あなたのお財布守ります～	40名
第13回 2月25日(月)	足利大学 看護学部	とちぎ消費者ネットワーク 代表 山田 英郎 氏	大学生が知っておきたい契約知識 ～トラブル事例と対処法～	68名

※2018年度開催校…自治医科大学/白鷗大学/宇都宮共和大学/栃木県農業大学校/文星芸術大学/作新学院大学/足利大学工学部/國學院大學栃木短期大学/作新学院大学女子短期大学部/足利大学看護学部

## 被災者支援活動、防災、平和の取り組み

### 1. 防災の取り組み

- 2月15日(金)、2018年度第2回中央地連 大規模災害対策協議会 全体会議が開催されました。

「首都直下地震対応広域連携プログラム」について協議しました。プログラム策定以降、熊本地震の発生等があり、BCPやマニュアルに新たな知見を反映させてきています。今後は、全国生協BCPを発動しない時や、首都直下地震以外の災害時にも中央地連が必要だと判断した際の支援に活用できるように、地域連携プログラムの改定を進めていきます。

その他、防災の取り組みに関する事前アンケートの結果報告、神奈川生協連・長野県生協連の活動報告、今期の課題振り返りと2019年度の取り組み等について話し合いました。2019年度の取り組みとして、年に2回の全体会議と交流会、年6回(偶数月)のMCA無線訓練の実施を予定しています。

### 2. 被災者支援の取り組み

- 被災地の情報提供

みやぎ生協さんからの報告をもとに、東日本大震災と津波の被害からの「いま」を追う

「3.11を忘れない～被災地のいま～ 第66回「互理町の文化から生まれた手作り雑貨。ビジネスとして長く続けていきたい 株式会社 WATALIS」をHPに掲載しました。

**栃木県生活協同組合連合会 2019年3月度以降の活動予定**

2019年2月28日(木)

2019年3月度 スケジュール 予定	
1日(金)	全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会
4日(月)	JA食と農を考えるフォーラム
5日(火)	第6回とちぎ消費者ネットワーク幹事会
11日(木)	とちぎ消費者リンク事務局会議
12日(火)	第5回常務理事会
13日(水)	とちぎ消費者リンク事例検討会議
14日(木)	沖縄視察研修
15日(金)	〃
16日(土)	〃
18日(月)	第4回 役員・幹部職員定期学習会(討論会)
19日(火)	平成30(2018)年度第2回とちぎ食育推進連絡会
20日(水)	宇都宮市食品安全懇話会
22日(月)	パルシステム茨城 栃木 新センター開所式
26日(火)	第4回福祉部会 2018年度報道代表者会との懇談会
28日(木)	日本生協連中央地連運営委員会、日生協総会議案検討会議
2019年4月度予定	
1日(月)	第6回くらし部会 MCA 防災無線訓練
4日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
9日(火)	第6回理事会
12日(金)	栃木県労働者福祉協議会幹事会
13日(土)	とちぎ食の安全ネットワーク全体学習会
14日(日)	NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット
19日(金)	第5回役員・幹部職員定期学習会
23日(火)	とちぎ消費者ネットワーク
25日(木)	NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
27日(土)	福祉祭り(栃木県労働者福祉協議会) メーカー(連合栃木)